

特別演習・刑法Ⅰ

科目ナンバリング CRL-401
選択 2単位

久保田 隆

1. 授業の概要(ねらい)

本演習では、各種国家試験等を見据えて、刑法に関する問題演習を通じて、より実践的な方法で知識を深めていきます。春期の「特別演習・刑法Ⅰ」では、主に刑法総論に関する問題を扱います。
毎回の授業では、問題演習にくわえ、担当者による解説を予定しています。

2. 授業の到達目標

- ①問題演習を通じて、刑法総論に関するより実践的な知識を習得する。
- ②各種国家試験等に対応できる力を養う。

3. 成績評価の方法および基準

学期末試験(80%)および授業への貢献度(20%)によって評価します。授業への貢献度については、授業態度や担当教員からの質問への応答などをもとに判断します。

4. 教科書・参考文献

教科書
資格試験研究会[編] 『公務員試験 新スーパー過去問ゼミ6 刑法』 実務教育出版
参考文献
TAC公務員講座[編] 『公務員試験 過去問攻略Vテキスト 6 刑法』 TAC出版
その他、刑法総論の講義で使用したもの。

5. 準備学習の内容

【予習】毎回、授業の最後に翌週の内容を予告しますので、上記教科書の「重要ポイント」を一読してください。
【復習】授業中に誤答してしまった問題を中心に、教科書の解説を読んで復習してください。その際、自分が何を見落とし、何を誤解していたのかを言語化できるよう努めてください。

6. その他履修上の注意事項

- ・「刑法総論Ⅰ・Ⅱ」をすでに履修済みであることを前提に授業を進めます(刑法初学者も歓迎します)。
- ・授業では、毎回教科書の問題部分のコピーを配布します(教科書に直接書き込んでしまうと、反復練習の妨げとなるため)。
- ・教科書と六法(小型のもので構いません)を毎回必ず(!)持参してください。
- ・質問や相談は、授業中およびその前後に受け付けるほか、LMSにも専用の項目を設けます(内容の濃い質問やコメントは、翌週の授業でとりあげることがあります)。

7. 授業内容

- | | |
|--------|--|
| 【第1回】 | ガイダンス アンケート 授業の進め方に関する協議 |
| 【第2回】 | 問題演習①:基礎理論 問題演習と解説 |
| 【第3回】 | 問題演習②:構成要件(1) 問題演習と解説 |
| 【第4回】 | 問題演習③:構成要件(2) 問題演習と解説 |
| 【第5回】 | 問題演習④:違法性阻却事由(1) 問題演習と解説 |
| 【第6回】 | 問題演習⑤:違法性阻却事由(2) 問題演習と解説 |
| 【第7回】 | 問題演習⑥:責任(1) 問題演習と解説 |
| 【第8回】 | 問題演習⑦:責任(2) 問題演習と解説 |
| 【第9回】 | 問題演習⑧:未遂犯(1) 問題演習と解説 |
| 【第10回】 | 問題演習⑨:未遂犯(2) 問題演習と解説 |
| 【第11回】 | 問題演習⑩:共犯(1) 問題演習と解説 |
| 【第12回】 | 問題演習⑪:共犯(2) 問題演習と解説 |
| 【第13回】 | 問題演習⑫:罪数・その他 問題演習と解説 |
| 【第14回】 | 総括 春期のまとめ 学期末試験 |
| 【第15回】 | 講評 学期末試験へのフィードバック【※LMSを利用したオンデマンド方式にて実施】 |